

第33回日本急性血液浄化学会学術集会

ライブ配信の案内 >

- ▶ ホーム
- ▶ 会長挨拶
- ▶ 開催概要
- ▶ プログラム・日程表
- ▶ 参加登録
- ▶ 参加者へのご案内
- ▶ 司会・演者の方へのご案内
- ▶ 専門医共通講習/救急科領域講習
- ▶ ハンズオンセミナー
- ▶ 演題募集・採択演題一覧
- ▶ 指定演題登録
- ▶ アクセス

Without haste, but without rest.



会期 2022年 **10月7日(金)～8日(土)**

会場 **じゅうろくプラザ**
(岐阜市文化産業交流センター)

会長 **小倉 真治**

総幹事 **吉田 省造**

主催学会 岐阜大学大学院医学系研究科
救急・災害医学分野

写真提供：岐阜市

パネルディスカッション1 災害時の急性血液浄化

10:50～12:20

司会： 山梨大学医学部救急集中治療医学講座 森口武史
東京医科大学八王子医療センター腎臓病センター腎臓外科 上野琢哉

- PD1-1 南海トラフ巨大地震を想定した災害時の当院の血液浄化療法を考える
岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター 吉村絃希 他
- PD1-2 クラッシュ症候群時の対応マニュアルの作成
静岡県立総合病院腎臓内科 長井幸二郎 他
- PD1-3 血液浄化療法を必要とされる患者の災害時受け入れ体制の構築
東京警察病院救急科 金井尚之 他
- PD1-4 本格的なライフラインが不要な急性血液浄化
岩手県立中部病院泌尿器科 伊藤明人 他

岐阜県で行われた学会に司会として参加してきました。

南海トラフ地震の発生が懸念される中、中部や関西、四国を中心とした地域での地震発生に伴う外傷後急性腎不全や透析環境へのサポートに関する内容でした。

東日本大震災を経験された医療従事者の発言もあり、緊張感の中で発表質疑は進み、今準備すべき事の重要案件（施設の安全基準、備蓄や動線確保等）や震災発症後の二次災害発症のリスク軽減の検討準備が求められている事を痛感しました。

皆さんも自宅での震災対策、取り組まれて下さい。